

進路だより

進路指導部

1 進路決定状況

3年生の就職試験は終了となりました。一般企業への就職希望の32名は、全員内定を頂くことができました。コロナ禍のため、不安の中始まった就職試験ではありましたが、最後まであきらめず頑張ってきたことで、例年より早い内定決定を迎えました。

進学については、専門学校の入試がほぼ終わり、これから短期大学や4年制大学の入試が実施されています。3年生は、もう一息です。学年全員が進路決定するまで頑張りましょう。

2 内定・合格体験記①

今号から、内定・合格体験記を掲載していきます。3年生が進路決定まで取り組んできたことなどを紹介します。1・2年生は、これから、自分の進路について考える機会が増えてきます。3年生が進路実現に向けて取り組んできたこと、心掛けてきたことを参考に、学校生活を送ってください。



就職試験の内容は、一般的に『筆記（一般常識）』・『適性検査』・『面接』・『作文』などの試験が行われます。最近では、『筆記（一般常識）』と『適性検査』の両方の評価を見ることができる適性検査『SPI』を取り入れる企業が増えてきました。そのため、『SPI』対策を3年生の1学期に朝自習として全員取り組んでいます。面接や作文の指導も受験先決定後から練習をします。特に、就職試験では、面接での評価が大きく、そのため対策が重要となります。

なお、今年度の就職試験も、コロナ感染対策で、面接が集団面接から個人面接に変更されたり、日程を分けて試験が実施されたり、例年どおりの就職試験ではない企業もみられました。また、オンラインでの試験（筆記や面接）を実施した企業もあり、試験方法もその時の状況に合わせた対応が見られました。

【株式会社SUMCO九州事業所（一般事務） 大川内七奈（東陵中出身）】



私は、商業科で学んだ簿記を活かせる事務職に就きたいと考えていました。

その中でも、自宅から通勤できる地元企業を探していました。株式会社SUMCOは、半導体不足のためシリコンウェハの需要が高く、業績は安定しており、福利厚生や休暇制度が充実していること、女性でも動きやすい職場環境が整っているなど強く魅力を感じ受験したいと思いました。

受験までに準備したことは、企業研究を十分に行い、試験対策として、試験内容であるSPIの勉強や面接練習、作文などに積極的に取り組みました。特に、面接練習では、多くの先生方に指導していただき、受けたアドバイスは忘れないようにメモをし、面接練習に活用しました。

受験時は、SPIや作文は対策をしっかりとしていたため、落ち着いて最後まで取り組むことができました。面接は大変緊張して不安でしたが、十数回の面接練習のおかげでしっかりと答えることができました。

【日本郵便株式会社九州支社（郵便局員） 檜崎星来（東陵中出身）】

私は、高校生活で学んだ簿記や商業の知識を活かせる仕事につきたいと思っていました。そのようなときに、事務的な仕事だけでなく、幅広い年代のお客様と直接かかわることのできる郵便局に魅力を感じ、受験を決めました。



受験までに一番頑張ったことは、面接練習です。最初はうまく答えられず、予想していない質問には、短答でしかできませんでした。そのため、先生方からのアドバイスを面接ノートに書き、何度も応答文を考え直したりしてどんな質問でも答えられるように対策をしました。また、友人や家族にも協力してもらい、何度も面接練習をしました。

受験時は、適性試験では問題数がかなり多かったですが、しっかりと解答することができ、面接では、予想していない質問や答えたことにさらに質問をされるなど大変でした、焦らず笑顔でこたえることができました。

【福高観光開発株式会社（フロントスタッフ） 杉山遥菜（青嶺中出身）】

私は、以前から人と関わることが好きで、就職先を考える際にも、人と関わることのできる仕事に就きたいと考えていました。フロントスタッフとして、これまでに身に着けたコミュニケーション能力を活かして仕事をしたいと思い志望しました。

受験までに意識的に取り組んだことは、面接練習でした。フロントスタッフは、サービスに係る仕事内容であるため、面接では、答える内容だけでなく、面接を受ける姿勢や態度も評価されると考えました。そのため、練習の時から特に姿勢や態度に気を付けて取り組んできました。また、私は、緊張すると早口になってしまうため、ゆっくりハキハキと答えることを意識して練習しました。その甲斐あって、面接本番では、しっかりと落ち着いて答えることができました。

試験当日は、大変緊張しましたが、受験までに、何回も面接練習をしていたので、普段通りに質問に答えることができました。

【トヨタ自動車株式会社（生産関係職） 藤森奈々（青嶺中出身）】

私は、高校2年生まで、キャビンアテンダントになるために進学を考えていましたが、コロナ禍の中、その進路実現が厳しいと考え、思い切って就職に目を向けようと考えました。先生方や家族、友人、知人など多くの人に相談し、トヨタ自動車（株）の仕事のやりがいと多くの魅力を知り、トヨタ自動車（株）で働きたいと思い受験を決めました。



試験を受けるにあたり、過去の受験報告書などを参考にして、筆記試験や面接の対策をし、試験本番では、筆記試験では問題数が多いことから、正確さだけでなく問題を解く速さを意識しました。面接は、これまで集団面接でしたが、コロナ対策として個人面接に変更となっていたため、想定外の質問が多く、その対応力を試されました。そのため、文章で覚えることにこだわり過ぎないことが大事だと思いました。

進路実現するためには、評定や欠席数が大きく影響します。また、進路に関することは、とにかく進路指導室に足を運び、気になったことは相談することが大切です。

【株式会社デンソー（生産関係職） 進藤 円（西有田中出身）】



私が、（株）デンソーを受験した理由は、高い技術力で自動車関連の部品やシステムを開発されており、最先端の技術を活用した製造業に興味を持ったからです。

試験対策は、早目に取り組むことが大切です。また、試験対策として最も力を入れたのは、面接練習です。（株）デンソーの面接は、一問一答形式ではなく、答えたことに対してさらに質問をされるため、とにかく何回も面接練習をしました。また、企業研究もしっかり行い、理解を深めました。

受験当日は、とても緊張しました。オンラインでの筆記試験・面接は慣れないことが多く不安でしたが、これまで取り組んできたことを、いつも通りにすることを心掛けて試験に臨みました。とくに、面接では、自分らしさを大切に、何を伝えたいのかをきちんと話せてよかったです。

【タイムカプセル株式会社（WEB開発者） 山口 凌磨（南波多郷学館出身）】

私がタイムカプセル（株）を志望したきっかけは、高校3年間で学んだITの知識を活かすことができる仕事に就きたいと考えていたからです。また、タイムカプセル（株）は、伊万里オフィスを開発され、地元伊万里に貢献できること、そして、本校で行われたアプリ開発の講座を受講した際、社員の方の対応がよく、このような方々と同じ職場で働きたいと思ったからです。

受験が決まってからは、対策として、主に面接練習に力を入れました。私は人前で話すことが苦手で、極度に緊張し、声が震えてしまいます。そのため、何回も面接練習をし、それ以外にも、空き時間は声を出さず練習や面接ノートをまとめる時間に費やし、面接練習に取り組みました。

試験当日は、とても緊張しましたが、面接練習のおかげで、声も震えず、自分の伝えたいことをゆっくりはっきりと伝えることができました。面接練習をしていただいた先生方や友人には感謝しています。

3 行事予定（進路関係）

12月 9日（木）進路報告会（6限目：1・2年）
14日（火）県内企業・上級学校合同説明会（PM：2年）
16日（木）作文指導（6限目：1年）